

万博実証展示に向けた基礎実験費用のため寄付の受付を
始めました。（令和3年3月19日から5月31日まで）

海洋インバースダム協会はカーボンニュートラルの社会を目指して再生可能エネルギーの大量導入に貢献すべく、産学で活動しておりますが、この度Readyforさんのお力をお借りして協会の基礎研究成果の実証試験資金をクラウドファンディングで集めたいと考えています。皆様のご協力、お力添えを心よりお願い申し上げます。

『ご寄附募集の目的と研究内容の補足説明』

1回目 3月31日（水）午後6時~7時

2回目 4月10日（土）午前11時~12時

※どちらもオンライン開催

申込方法：海洋インバースダム協会のホームページ[お問い合わせ](https://www.kid-s.jp) | [KID-S 一般社団法人海洋インバースダム協会](https://www.kid-s.jp)
[\(kid-s.jp\)](https://www.kid-s.jp) のお問い合わせのフォームよりお申込みください。追って確認のメールを差上げます。

ご協力をお願いする目的

ページをご覧ください、ありがとうございます。一般社団法人海洋インバースダム協会会長を務めております石川容平です。京都大学生存圏研究所で、洋上・地上のマイクロ波電力伝送技術を用いて再生可能エネルギーの無線送電システムの研究をしております。

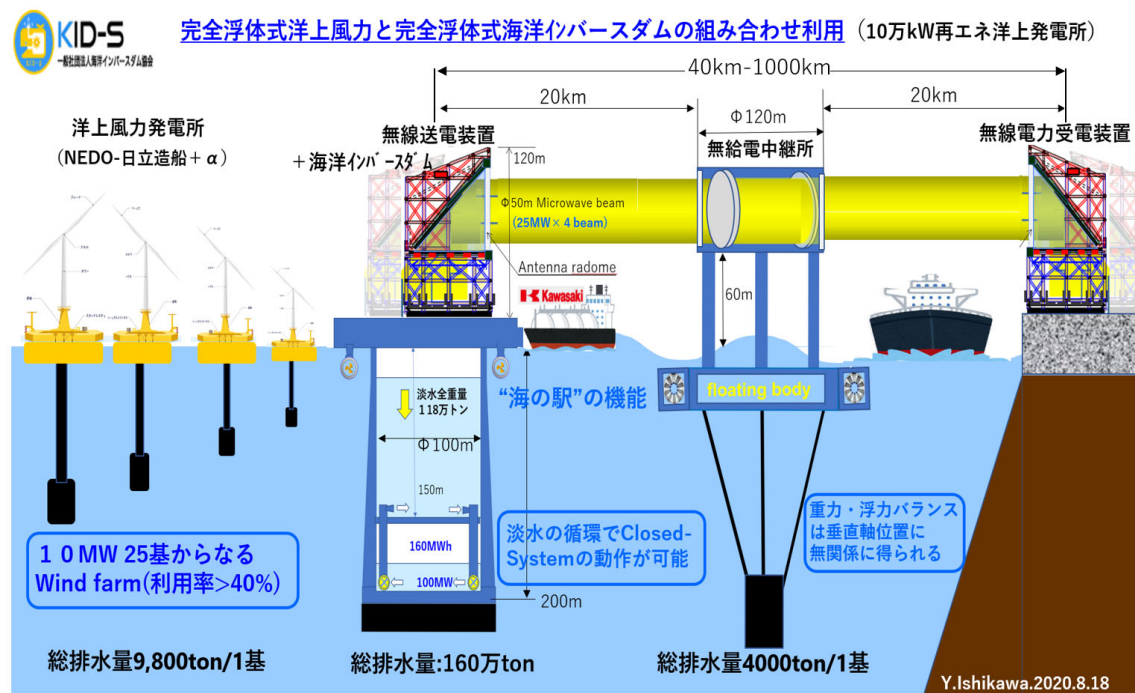
産学のコンソーシアムを構成している（一社）海洋インバースダム協会では持続可能な社会の発展とわが国のエネルギー自給率向上を目指して、大規模な洋上の再生可能エネルギー（風力・太陽光等）を電力系統に導入するシステムの研究を行い、2050年にはわが国総電力の50%を洋上の再生可能エネルギーで賄う計画を立てています。

洋上の“再エネ電源”とその変動を吸収する“海洋インバースダム”と陸地まで運ぶ輸送システムが必要です。今回のプロジェクトは遠方洋上（10km-20km）から大量の再エネを運ぶ輸送システムに着目し、その革新的な方式の理論実証試験を最小システムで行おうとしています。

実験実施にあたり、資金が不足しております。皆様のお力添えを賜りたく、今回クラウドファンディングをお願いすることになりました。

この原理実証実験により産業界や関係省庁の理解が得られ、2025年万博実証展示への開発体制づくりが一挙に進むと考えております。またその大規模な費用もお国で予算化して頂くことも可能だと考えています。

グリーン国家・社会を目指す皆様のご支援と応援をどうかお願いいたします。



2040年頃の洋上風力発電所と陸地への輸送システムイメージ図

洋上ウインドファームはわが国で最も期待されている主力の再エネ電源です。沿岸部は漁業、海上交通、観光業との摩擦が大きく、風況も十分ではありません。沖合の浮体式洋上風力はそれらの課題を解決し、さらに津波など自然災害に強いシステム構築が可能です。図は10万KW 浮体式洋上風力ですが、海洋インバースダムの蓄電効果により出力調整が可能な高品質な安定電源として機能します。設置場所は40km以上離岸した400m以上の深度を持つEEZ内海域です。